

解答

一

- 問一 相手の発言　　～　できない人
問二 人が使った　　～　こなすこと
問三 エ
問四 B 意識　　C 文脈
問五 相手の話をきちんと聞かず、自分の中にあらかじめセットされている話を反復する傾向があるから。
問六 ウ
問七 オ
問八 l エ　　2 ア
問九 l イ　　2 エ　　3 ア　　4 キ　　5 ク
問十 g 意外　　b 保有　　c 本筋　　d 格段　　e 沿〔って〕　　f 済〔んだ〕
察知　　h 効用　　i 障害　　j 蔽〔しく〕

二

- 問一 a 姿勢　　b 博士　　c 余計　　d 無造作
問二 A オ　　B ア　　C イ　　D ク　　E ウ
問三 エ
問四 ウ
問五 オ
問六 祖父（が）もう、長くはない（状態であるということ。）
「おじいちゃんが
すつきり
伊藤卓也はなにを見ているのか気になった。
祖父
問十 2 ア　　4 カ
問十一 イ
問十二 仕事忙しいという理由で何もせず、母に祖父の介護を押し付ける身勝手に冷たい人。
問十三

解説

一

- 問五 — ③を含む段落に筆者が「人間ジュークボックス」と呼ぶ理由が説明されているので、相手の話をきちんと聞く習慣がなく、自分の話ばかりしたがる人の中には、自分の中にあらかじめセットされている話を反復する傾向があるという内容をまとめて書き表します。
問六 — ④を含む一文と同じ内容が、一つ前の「私は個人的に、」で始まる段落で説明されています。相手と話を絡ませて会話を続けることができ、高齢になっても、相手の話にきちんと反応し、それに絡む形で自分の話を上手に織り込んでくる人はばけてはいないと判断することから、選択肢ウが最も適切です。

二

- 問十二 本文には、「わたし」が伊藤卓也と思いがけなく病院で会い、卓也の父方の祖父がもう長くないことや、父が仕事を理由に母に祖父を押し付けたこと、祖父が好き卓也は「勉強なんてどこでだってできるんだ。」と思いこつちに来たことを聞かされる様子が描かれています。祖父が長くないことに涙を流し、父、母、祖父の関係を気にしながら、自分の考えに従って行動している卓也の姿から選択肢イが選べます。
問十三 伊藤卓也の言葉から、父は仕事で忙しいことを理由に、母にだけ祖父の介護を押し付けようとしたことや、特別室に入れることで親孝行した気持ちになっていることがわかるので、父を自分勝手に冷たい人だと思っていることをまとめます。